

学校教育目標：「よく考え 笑顔で 元気な 大海っ子の育成」

令和5年度

大海小 学校だより

7月号

おおみ

令和5年6月28日

校長 香林 直晴

PTA学校林整備作業、授業参観等ご参加いただきありがとうございました！

6月4日(日)、学校林の整備作業を行いました。PTA 環境生活部や森林組合の方々のお世話のもと、5,6年生と保護者が、登山道周辺の下草刈りや階段の修復作業を行いました。昨年度、3年ぶりに実施したことで、今年度はスムーズに作業を終えることができました。作業後には、児童がクヌギの木の植樹を行い、自分の名前入りのプレートを植樹した木につけてきました。代々受け継がれてきた学校林をこれからも大切に守っていきたいという思いを強くしました。

また、6月14日(水)には、授業参観・救命講習会・引き渡し訓練を行いました。まず、授業参観前に救命講習会をプレールームで行いました。AEDの使用方法や心肺蘇生法について学ぶことができました。次にパワーアップタイムの時間を利用して、5,6年生が音楽会の校内発表を行いました。音楽会に向けて、一生懸命に練習してきた成果を披露しました。授業参観の中では、4年生が器械運動の発表会を行いました。先日、宇ノ気小学校で行われた器械運動交歓会では、まだ保護者の参観ができませんでした。それで、この授業参観の機会に保護者の皆様に見てもらいました。本番の時と同じように、皆しっかりと演技していました。保護者の皆様、多数ご来校いただき誠にありがとうございました。



7月の生活目標・・・『ふわふわ言葉を使おう』

今月は時と場に応じた言葉遣いができること。人の気持ちを考え、温かい言葉かけ(ふわふわ言葉)ができること。この二点を目指して取り組みます。クラスで増やしたい「ふわふわ言葉」について話し合います。「ふわふわ言葉」は、思いやりの心を育むためのものです。「がんばれ」「いいね」「おめでとう」「だいじょうぶ」等、相手が喜んでくれたり、勇気が湧いたり元気になったりする言葉のことです。また、『いじめはいけないうこと』だとわかっているけど、何気ない言葉が相手の心を傷つける場合があります。時にはケンカすることもあるかもしれませんが、仲直りができる『ごめんね』も、すぐに言えるようになってもらいたいと思います。ご家庭でも、ぜひ「ふわふわ言葉」で声かけをしてあげてください。



7月の学習目標・・・『反応しながら聴こう』

今月は、学び合いの授業づくりのために、友だちの発言に反応できる子どもを育成するための取組を行います。「わかりました」から一歩前進して、友だちの発言を真剣に聴いているからこそ生まれる素直な反応ができるといいなと思います。

【反応あいいうえお】 あ～・いいね・うんうん(わかる)・ええっ?・おお!

【反応はひふへほ】 はあ～(そういうことか)・ひえ～・ふんふん・へえ～・ほ～

